

Istanbul Weekly vol.8-no.13

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2019年4月12日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：**イスタンブール市長選の再集計作業、収束せず。
欧州人権裁判所のトルコ代表裁判官にユクセル准教授が選出。
- 経済：**IMF、2019年トルコの経済成長率を-2.5%と予測。
トルコ中央銀行の外貨準備高、754億米ドルへ回復。
アルバイラク財務相、経済改革パッケージを発表。
- 治安：**イズミル県ベルガマ郡及びトルバル郡でISIL容疑者10人を拘束。
アタテュルク国際空港でコカイン約8キロ。
- 社会：**第14回イスタンブール・ハーフマラソンが開催。
空港移転がトラブルなく完了。

政治

【内政】

●エルドアン大統領、イスタンブール市長選の再集計プロセスに言及

5日、エルドアン大統領は、3月31日に実施されたイスタンブール市長選の票の再集計プロセスについて、「最終的な決定は高等選挙委員会(YSK)が下す。」と述べた。また、「イスタンブール市議会選挙の結果、現時点では野党よりもAKPの議席獲得数の方が多い。今後の予算等の決定の許可は我々と党が下す。」と述べた。(4月6日付けM紙13面)

●イスタンブール市長選の再集計作業、収束せず

(1)7日、ヤヴズ AKP 副党首は、イスタンブール市長選の票の再集計について、「AKPは今回の選挙で奇妙なことが生じていると感じており、市内38区で有効票・無効票の再集計の実施を要求する。」と述べた。AKPは高等選挙委員会(YSK)に異議申立てを行った。(4月8日付けM紙14面)

(2)同日、イマームオール候補(CHP・優良党)は、ヤヴズ AKP 副党首の発言に対し、計算機を片手に「全ての票を再集計するには、283日要することになる。」と皮肉を込めて批判した。8日、クルチダルオール CHP 党首は、「異議申立てするためには証拠と根拠を示さなければならないが、そのような証拠や根拠は示されていない。」と反発した。9日、高等選挙委員会(YSK)は、AKPの異議申立てに対し、21区51か所の投票所における再集計を行うことを決定した。(4月8日付けM紙15面ほか)

●ウイサル・イスタンブール市長、ブユックチェクメジェ区長選のやり直しを要求

10日、ブユックチェクメジェ区長候補者のウイサル・イスタンブール市長(AKP)は、ブユックチェクメジェ区長選について、「ブユックチェクメジェ区内の空き地に736名の偽の有権者が登録

されていた。また、1,500人のAKP党員及び3,092人のAKP支持者が有権者リストから消去されていた。」と述べ、ブユックチェクメジェ区長選のやり直しを要求する異議申立てを高等選挙委員会(YSK)に行ったことを明らかにした。11日、高等選挙委員会(YSK)は、AKPの異議申立てについて協議したが、イスタンブールでの票の再集計作業が完了していないことを理由に結果については保留とした。(4月11日付けM紙14面及び4月12日付けC紙4面)



(写真は、4月10日付けTRTHABERインターネット版から)

●バフチェリ MHP 党首、イスタンブール市長選の再選挙を示唆

9日、バフチェリ MHP 党首は、イスタンブール市長選について、「イスタンブール市で混乱が発生している。混乱の代わりに有権者が再度投票所に行き、トルコに平安をもたらす方が合理的である。」と述べ、再選挙の可能性を示唆した。(4月10日付けM紙14面)

●エルドアン大統領、バフチェリ MHP 党首と地方選挙を協議

10日、エルドアン大統領は、バフチェリ MHP 党首と会談した。会談で、イスタンブール市長選の再集計プロセスやAKP・MHP間の政党間同盟「共和同盟」の3月31日の地方選挙の結果などが協議された。エルドアン大統領は、イスタンブール市長選におけるAKPによる異議申立てに関する情報をバフチェリ MHP 党首に伝えた。(4月11日付けM紙14面)



(写真は、4月10日付け Sözcü 紙インターネット版から)

【外交】

●エルドアン大統領、モスクワでブーテン露大統領と会談

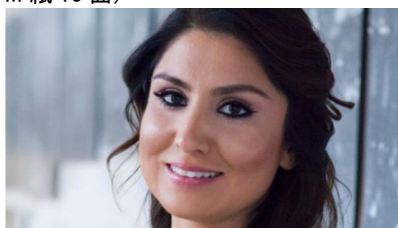
8日、エルドアン大統領は、モスクワでブーテン露大統領と会談した。会談では主に、S-400 防空システム及び F-35 戦闘機の購入、シリアの最新の状況などが取り上げられた。会談後、エルドアン大統領は、シリアでのテロ活動に対し両国が連帯して措置をとることが重要であるとし、「我々は我が国の安全とシリアの領土一体性を脅かす存在を見て見ぬふりはしない。」と述べた。(4月9日付け C 紙 7 面)



(写真は、4月8日付け NTV インターネット版から)

●欧州人権裁判所のトルコ代表裁判官にユクセル准教授が選出

9日、法務省は、欧州評議会議員会議の裁判官選出委員会が実施した選挙の結果、トルコを代表してサーデット・ユクセル准教授が選出されたと発表した。ユクセル氏は、ハーバード大学(修士課程)及びイスタンブール大学(博士課程)を修了後、現在イスタンブール大学憲法学科学科長を務めている。今後は9年間、欧州人権裁判所で勤務する予定。(4月10日付け M 紙 10 面)



(写真は、4月9日付け HaberTurk 紙インターネット版から)

●チャヴシュオール外相、ロシアからの S-400 防空システム購入にコメント

10日、チャヴシュオール外相は、NTV の番組内で、「米国がパトリオットミサイルを売却すれば、我々はそれを購入する。しかし、米国が売却しなければ、今後、2機目の S-400 防空システムや他の防空システムをロシアから購入する可能性がある。」と述べた。(4月11日付け M 紙 13 面)

経済

【マクロ経済】

●3月の貿易赤字、19.7億米ドルに減少

4日、ペキジャン貿易相は、3月の貿易赤字が対前年同月比 67.3%減の 19.7 億米ドルであったと発表。輸出額は同 0.5%増の 163 億米ドルで、3月の記録としては過去最高額となった。最

大の輸出項目は自動車で、25.2 億米ドル。鉄鋼部門の輸出は前年同月の 9.64 億米ドルから 9.87 億米ドルに増加。一方で、輸入は対前年同月比 17.8%減の 183 億米ドルだった。(4月5日付け HDN 紙 9 面)

●2月の経常収支赤字、7.18億米ドルに減少

11日、トルコ中央銀行は、2月の経常収支赤字が前年同月の 45 億米ドルから 37.8 億米ドル減の 7.18 億米ドルであったと発表。過去 12 か月の経常収支赤字は 170 億米ドル。エコノミストは、2019 年末の経常収支赤字は 182 億米ドルと予想している。(4月11日付け AA)

●IMF、2019年トルコの経済成長率を-2.5%と予測

国際通貨基金(IMF)は、9日に発表した「世界経済見通し」において、2019年のトルコの経済成長率は-2.5%となり、2020年は2.5%の成長に転じると予測。トルコの新経済計画は経済の複雑な課題に対処する枠組みとなるが、包括的で信頼できる政策ミックスがマクロ経済の安定のためには必要であると提言。財務バランスシートの透明性の向上、必要に応じたバランスシートの更なる健全化が、長引く不確実性への対処に役立つとした。(4月10日付け HDN 紙インターネット版)

【経済政策】

●アルバイラク財務相、経済改革パッケージを発表

10日、アルバイラク財務相は、経済の拡大と強化という目標を達成するため、特に銀行部門の強化に主眼を置いた構造改革を進めるとし、「新経済計画(NEP)」実現のための行動計画を発表した。その概要は次のとおり。

<金融部門>

- ・国営銀行の資本構造の強化: 280 億トルコリラ相当の国債の発行により、国営銀行のバランスシートを改善。
- ・債務の株式化(DES)を通じ、民間銀行のバランスシートを改善。
- ・不良債権比率を 2 月時点の 4.11%から本年末までに 2.92%に減少させる。
- ・間接税を軽減し直接税を増加させ、新たな税制構造を実現。新税制下では法人税を徐々に軽減し、雇用を創出。

<インフレーション>

- ・食品価格の高騰がインフレの主要因。温室(栽培)企業を設立し、2019年中に 2,000 ヘクタール相当の温室を整備し、長期的には温室栽培生産の 25%を占めることを目指す。
- ・牧畜(羊及び山羊)の振興による赤肉価格の引き下げ。4年以内に 1 億頭のストックを目指す。

<流通>

- ・トルコの貿易ハブ化のため、運輸インフラ省及びトルコ・ウェルス・ファンドは流通マスタープランを作成。

<観光>

- ・7,000 万人の観光客と 700 億米ドルの観光収入を 2023 年までに達成するマスタープランを作成。9 月までにエルソイ文化観光相が発表。
- ・より効果的なプロモーション実行のため、観光開発ファンドを設立。

<輸出>

- ・持続可能な輸出振興戦略のため、8 月までにマスタープランを貿易省が発表。
- ・工業生産の国産化の拡大のため、産業科学省は、R&D 投資の効率化、需給形成の支援、高付加価値製品の開発戦略を実施。

<司法>

- ・近日中に「司法改革戦略」のアップデートを発表。同戦略は

2011年にEUの司法体系にトルコを適合させるために開始されている。

(4月11日付けDS紙インターネット版)



(写真は、4月11日付けDS紙インターネット版から)

【金融】

●トルコ中央銀行の外貨準備高、754億米ドルへ回復

4日付けでトルコ中央銀行が発表した週報によれば、3月29日時点での中銀の総外貨準備高は、同22日時点の714億米ドルから754億米ドルに回復した。一方で、この期間に金準備高は209.9億米ドルから208.3億米ドルに減少。また純外貨準備高は同期間に1,420億トルコリラから1,647億トルコリラ(297億米ドル)に増加した。外貨準備高は2018年3月に847億米ドルを記録して以来、同年末までに719.8億米ドルに低下している。(4月5日付けHDN紙4面)

●「参加」(イスラム)銀行の利益、対前年比33%増

2018年のトルコのイスラム系銀行(いわゆる「参加銀行」(Participation bank))の純利益が約21億トルコリラに上り、対前年比32.9%増となったことが明らかになった。2018年12月末時点でクウェイト・トルク銀行、アルバラカ銀行、トルキエ・フィナンズ銀行、ズイラト銀行及びヴァクフ銀行の総資産は2,066億トルコリラに達し、対前年比29%増加。預金も同30.1%増の1,366億トルコリラ。貸出し金額は同15%増の1,125億トルコリラ。5銀行の中でもクウェイト・トルク銀行は8億6,980万トルコリラの純利益を上げ、対前年比29%増。12月時点でのイスラム系銀行のリスクアセットに対する自己資本規制比率は15.75%。アクユズ・トルコ参加銀行協会会長は、トルコのイスラム系銀行は2019年に30%の成長を見込んでいた。(4月8日付けHDN紙9面)

【自動車産業】

●2月の新規車両登録台数、対前年同月比45.8%減

4日、トルコ統計庁(TUIK)は、2月の新規車両登録台数が対前年同月比45.8%減の3万4,025台であったと発表。登録の内訳は、四輪自動車が54.3%、二輪自動車が22.7%、小型トラックが12.9%。また、15%がルノー、14.9%がフィアット、11.6%がフォルクスワーゲンだった。2月末までの全登録車両台数は2,290万台だった。(4月5日付けHDN紙9面)



(写真は、4月4日付けAAから)

●2019年第1四半期の自動車販売、対前年同期比44.2%減少

自動車販売協会(ODD)及びトルコ輸出業者会議(TIM)の発表によれば、2019年第1四半期のトルコにおける乗用車及び軽

商用車の国内販売は対前年同期比44.2%減少し、輸出も前年の82.2億米ドルから77.6億米ドルへ同5.7%減少した。前年同期に比べ、輸出先ではイタリアが2億5,610万米ドル、ドイツは1億2,040万米ドル、イランへは8,290万米ドル減少した一方で、イスラエルへの輸出は5,450万米ドル、ルーマニアへは5,340万米ドル増加した。(4月6日付けD紙インターネット版)

●ホンダ、トルコ工場の閉鎖を発表

8日、ホンダは、2021年にトルコの工場におけるシビックの生産を停止し、1997年以来続けてきた自動車の生産を終了すると公式に発表。津村ホンダトルコ社長は、関係者と協力して同社工場の従業員の再就職支援を行うと述べた。なお、工場閉鎖後も、ホンダ車の販売及びアフターサービスは継続される。(4月8日付けHT紙インターネット版)

【空港】

●アタテュルク空港閉鎖に伴い、4,500人解雇

8日、イスタンブールのアタテュルク国際空港を運営してきたTAV空港ホールディングスは、同空港の閉鎖に伴い従業員4,500人を解雇することを明らかにした。関係者によれば、同空港の契約期限は2021年1月3日を最終日としており、早期解雇に伴う補償金(Tazminat)の支払いは2.04億トルコリラに上ると算出されている。この損失額は航空管理局(DHMI)により支払われる予定。(4月9日付けSOZCU紙9面から)



(写真は、4月8日付けSOZCU紙インターネット版)

【企業等の動き】

●キヤノン、スィルケジ地区にエクスペリエンスセンターをオープン

写真、動画、印刷分野で世界をリードするキヤノンが、イスタンブール市のスィルケジ地区において、ヨーロッパ中東アフリカ地域で初となる「エクスペリエンスセンター」をオープンした。1階ではカメラ、レンズ、写真プリンター等幅広い製品を展示し、2階では選んだ製品の試し撮りが行えるスタジオを設置。撮影からプリントの受取りまでを体験できる。また撮影技術を向上させたいキヤノンユーザー向けには、無料講習会も上階のアトリエで開催される。同センターの営業時間は、月曜から土曜の9:00から18:00まで。(4月8日付けC紙10面)



(写真は、3月15日付けH紙インターネット版から)

治安

【ISIL関係】

●イスティクラール通りで発生したテロ事件の被告人2名に終身刑

イスタンブールの裁判所は、2016年にイスタンブールのイステ

イクラール通りで発生した自爆テロ事件に関する裁判で被告人 2 名に終身刑、1 名に禁固 15 年、1 名を無罪とする判決を出した。終身刑になった被告人 2 名は、自爆テロ犯を支援し、自らも ISIL から自爆テロの訓練を受けていた。(4 月 6 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、4 月 6 日付け HDN 紙インターネット版から)

●3 月中、トルコ国内で ISIL 容疑者 105 人を拘束

アナトリア通信の統計によれば、3 月中、トルコ国内で ISIL 容疑者 105 人が拘束された。イスタンブールでは、テロ攻撃を計画していた容疑者 1 人、ブルサでは、シリアで ISIL 指令官であった容疑者 1 人が拘束された。(4 月 5 日付け HDN 紙インターネット版)

●イズミル県で ISIL 容疑者 10 人を拘束

10 日、警察は、イズミル県ベルガマ郡及びトルバル郡において、対テロオペレーションを実施し、ISIL 容疑者 10 人(シリア国籍 9 人、グルジア国籍 1 人)を拘束するとともに、銃器、ISIL の旗、デジタル資料、現金等を押収した。(4 月 10 日付け HDN 紙インターネット版)

【PKK 関係】

●アンカラ県で一般市民を恐喝して PKK に資金提供していた容疑者 2 名を逮捕

8 日、警察は、アンカラ県において、一般市民を脅迫して金銭を集め、PKK に資金を提供していた PKK メンバー 2 名を逮捕した。(4 月 8 日付け S 紙インターネット版)

●シュルナク県の対 PKK オペレーションで爆弾の材料を押収

10 日、治安部隊は、シュルナク県において、対 PKK オペレーションを実施し、手製爆弾の材料となるアルミニウム粉末 30 キロ、起爆装置 10 個、配線図等を押収した。(4 月 10 日付け S 紙インターネット版)



(写真は、4 月 10 日付け S 紙インターネット版から)

【FETO】

●FETO 容疑でこれまでに警察官 3 万 3,500 人を解雇

5 日、ウズンカヤ国家警察長官は、これまでに、2016 年のクーデター未遂事件を主導し FETO と関係していた警察官 3 万 3,500 人を解雇したと述べた。また、FETO の捜査については、24 万人に対して司法手続がとられ、8 万 4,000 人が逮捕されたと説明した。(4 月 5 日付け S 紙インターネット版)

【その他】

●トルコ各地において 1 日で 3,000 人以上の不法移民を拘束

7 日、治安部隊は、エディルネ県において、ギリシャに向かって

いた不法移民 950 人を拘束した。4 日、ソーシャルメディアにトルコが不法移民に対してギリシャへの越境を許可している旨の誤情報が掲載されており、多数の不法移民が同情信じてギリシャに向かったと見られている。また、7 日、イズミル、ヴァン、アンカラの各県でもそれぞれ 174 人、67 人、1,879 人の不法移民が拘束された。(4 月 9 日付け HDN 紙 2 面)



(写真は、4 月 7 日付け HDN 紙インターネット版から)

●アタテュルク国際空港でコカイン約 8 キロ

7 日、警察は、アタテュルク国際空港において、ブラジル・サンパウロからイスタンブールに到着したナイジェリア人 2 名をコカイン密輸容疑で逮捕した。密輸されたコカインは約 8 キロで、末端価格は約 35 万 2,000 米ドルになる。(4 月 9 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、4 月 9 日付け HDN 紙インターネット版から)

社会

●第 14 回イスタンブール・ハーフマラソンが開催

7 日、「第 14 回イスタンブール・ハーフマラソン」が開催された。同大会は、イェニカプをスタートし、歴史地区を回り再びスタート地点に戻るコースとなっている。同時に 10 キロマラソンも開催され、74 か国以上から約 1 万人が参加した。ハーフ・マラソンで男女ともに大会新記録を樹立し 1 位に輝いたのはケニア人走者だった。(4 月 7 日付け S 紙インターネット版)

●空港移転がトラブルなく完了

7 日、トゥルハン運輸インフラ相は、トルコにおいて世界最大規模の空港移転作業が行われ、同日午前 10 時には、作業の 97% が滞りなく完了したと述べた。エクシ・トルコ航空代表取締役も、空港移転が問題なく完了したことに触れ、「6 日には 87 便が離陸し、61 便が着陸した。離陸便の 92% が定刻どおりに離陸し、旅客数は 3 万 9,800 人に上った。」と述べた。新空港は当初年間 9 千万人の利用客を受け入れるキャパシティを有し、最終的にはこれを 2 億人まで増やすことが計画されている。(4 月 8 日付け HDN 紙 1 面他)

●世界最古の沈没船、地中海で発見される

地中海沿岸沖で約 3,600 年前のものと思われる世界最古の沈没船が発見された。アクデニズ大学の水中調査チームによって発見された難破船は、全長 14 メートルで積んでいたと思われる銅製のメダルも発見された。8 日、カラルオール・アンタルヤ県知事は記者会見で「海洋考古学の突破的な発見だ。」と述べた。発見場所については略奪を防ぐため「アンタルヤ県沖西部」とだけ発表されている。(4 月 10 日付け HDN 紙 1 面他)



(写真は 4 月 10 日付け HDN 紙インターネット版から)

●パラ世界大会 トルコ人水泳選手が金メダル

4 日から 6 日まで、米国インディアナポリスで開催されたパラ水泳世界大会で、トルコ人水泳選手のボヤジュ選手が金メダルを獲得した。19 か国から 160 人が参加した大会で、同選手は 50 メートル背泳ぎで 45.28 秒をマークした。(4 月 10 日付け HDN 紙 1 面他)



(写真は、4 月 10 日付け HDN 紙インターネット版から)

●サカルヤ河の汚染が深刻化

河川を汚染から守るための対策や罰則、テレビやソーシャルメディアでの呼びかけにも関わらず、心無い市民や経営者が投棄する廃棄物がサカルヤ河を台無しにしている。アチャン・サカルヤ商工会議所環境都市委員会委員長はサカルヤ河の汚染が最悪のレベルに達しているとし、「汚染は河川だけに留まらず、畑や灌漑地、河川の生態系にも影響する。汚染度 4 でサカルヤ県に流れ込む河水は、黒海に注がれる。河川の汚染は国家の問題として扱われる必要がある。これには大統領の支援が必要だ。」と述べた。サカルヤ河は全長 824 キロメートルで、エスキシェヒル県から 9 県を流れ黒海に流れ込んでいる。(4 月 11 日付け H 紙 6 面)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNG	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TİKA	トルコ協力発展機構
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İSO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
İSID	イラク・レバントのイスラム国	TUBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İTO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSİAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSİAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Habertürk
D	Dünya	İA	İhlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2019.1.1～2019.4.11 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2018年	0件	9件	0件	2件	0件	15件	0件	6件
2019年	0件	3件	0件	1件	0件	2件	0件	2件